

【長崎若者サポートステーション】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第2ステージ】

取組年度	令和5年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第1ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
	KPI項目	目標値
第2ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数 (サポステ佐世保との合算)	30件
	職場体験等の実施件数 (サポステ佐世保との合算)	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (ハローワーク長崎との意見交換等の実施回数)	4回

【令和5年度取組結果等】

職場体験先の確保について：

職業的自立に悩む氷河期世代の方は、生活困窮の悩みを相談する家庭にすることが考えられることから、生活困窮の相談を受託している団体（県南地域では、長崎市・大村市・時津町・長与町の社会福祉協議会、諫早市ではグリーンコープ）並びに関連団体や機関（長崎市、長崎県社会福祉協議会）などと、職場体験ネットワーク協議会を立ち上げて、職場体験先企業の共有や、共同での体験先開拓を行っている。

職場体験の実施について：

サポステの支援で、毎月コンスタントに3～5件ほど実施している。実施前には体験先企業との顔合わせもしっかりと実施するほか、担当相談員と職場体験スタッフとで目的の共有も行っている。

ハローワークとの連携強化：

ハローワークからサポステに来ていただいて直接サポステを見てもらい、支援状況などの説明を行っている。また長崎県の事業にて各ハローワークで巡回相談を行うなど意見交換以外も実施している。

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数 (サポステ佐世保との合算)	79件	263.3%
職場体験等の実施件数 (サポステ佐世保との合算)	53件	331.3%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (ハローワーク長崎との意見交換等の実施回数)	3回	75.0%

※サポステとハローワークとの連携体制の強化のうち1件はケース検討

※令和5年度末時点の実績

【令和6年度取組方針等】

- *これまで実施してきたことを継続しつつ、以下の新しい取り組みも行っていきたい。
- *職場体験の実施をより効果的なものにするために、企業と共有したフィードバック（振り返り表）の作成と活用。
- *職場体験の次のステップにあたる支援の検討（アルバイトと体験の中間にあたる、バイターンを検討する）
- *ハローワークの実施する各種イベント（セミナーや企業説明会など）をスタッフが把握し必要に応じて繋いでいく体制を強化する。